

心ひとつに

[体育祭]



「自分たちで創る、心から楽しむ体育祭」が、観る人に爽やかな感動を届けて幕を閉じました。保護者、地域の皆様に本校生徒たちの頑張る姿を見ていただけたことや温かい拍手と声援を送ってくださったことに感謝申し上げます。

「全力で取り組み、協力し、仲間を応援し思いやりの姿があり、一人一人がとてもかっこよかった。」体育祭で強く心に残った三年生の言葉です。けじめがあり、全力で駆け抜けた成就感があり、そこに仲間がいれば大きな感動を味わうことができることを実感した生徒たち。彼らを見守る私たち教師も感動し、本当に嬉しくなりました。運動が得意な生徒、苦手な生徒それぞれです。仲間の輪の中心で生き生きと活動できる生徒もいますが、集団に入ることが苦手な生徒もいます。そのように様々な生徒がいるのが学校（社会）です。今後も生徒一人一人の思いをつなぎ、一つの目標に向かって進むクラスや学校を目指し続けていきます。



<体育祭実行委員長の話>

今年度、体育祭実行委員長を務めさせていただきました、3年2組の渡邊綾花です。

私は1年生ときから3年間、体育祭実行委員として活動してきました。今年は実行委員長として「運動が苦手な人でも楽しめる体育祭」を目標に取り組みました。実行委員として体育祭を作り上げていく中で、予想以上の仕事の多さに驚いたり、うまく指示ができずに戸惑ったり、さまざまな経験をしました。それでも最後まで活動を続けることができたのは、先生方、応援団の皆さん、そして実行委員の仲間たちの支えとみなさんの協力があったからです。本当にありがとうございました。

体育祭当日では、特にリレーでの盛り上がりが印象的で、とても素晴らしい1日となりました。この成功は、決して私一人の力では成し遂げられなかつたものです。練習のときから「楽しめるように」「楽しくやろう」と声をかけてきましたが、皆さんにとって楽しい思い出になったでしょうか？私は、最高に楽しい体育祭になったと感じています。

この体育祭が、先生方や保護者の皆様、そしてやり遂げた仲間たちにとつて、心に残る思い出になることを願っています。



体育祭ポスター
大島 暖乃果さん作

[生徒総会]



5月29日(木)に、生徒総会が行われました。今年のスローガン「瞬花終闘」を掲げ、生徒会や各委員会から今年の活動計画や各委員会からの想いが発表されました。瞬花終闘とは「1つ1つ違う花のように1人1人が個性を出して最後は楽しく笑って終えられるようにしたい」という願い、「行事だけではなく、日常生活でも1人1人が花を咲かせられる環境にできるようにしたい」という想いが込められています。このスローガンに向け、自分たちの手で新たな柏五中を創り上げていきましょう。

[栄光の軌跡] 令和7年4月25日～令和7年5月23日

＜バドミントン部＞



令和7年度柏市民バドミントン中学生春季大会

女子団体準優勝・男子シングルス準優勝(明石陽向)・女子ダブルス準優勝(濱島奏空・濱島美海)

令和7年度第52回千葉県中学校バドミントン選手権大会出場

男子団体・女子団体・男子ダブルス（田畠瑞樹・鈴木聰一郎）・女子ダブルス（濱島奏空・濱島美海）

＜テニス部＞

令和7年度柏市ソフトテニス連盟杯 柏市中学校春季個人戦 優勝(高島紘・和田玲奈)

令和7年度柏市ソフトテニス連盟杯 柏市中学校春季個人戦 3位 (平山実珠・船津莉子)